

CRUISE ASSIST

GOMFORT LINE

この度は弊社製品<クルーズアシスト>をお買い上げ頂き、まことにありがとうございます。

本製品は車両のオートクルーズの一部機能をアクセルワーク連動にて自動化する商品です。ご使用前に必ず本説明書を読み、内容を十分に理解したうえで取り付け作業、製品使用をおこなって下さい。以下文面にてクルーズアシストを<CRA>と表記致します。

お願い! 本製品は性能向上、適合追加他の理由により、頻繁に取り扱い説明書の変更をおこなっております。お手元の取り扱い説明書のVol番号が最新でない場合はご面倒でも当社ホームページ上の取り扱い説明書を参考に取り付け、調整をおこなって下さい。

警告 死傷につながる恐れがある事故を未然に防ぐ為の事項を示してあります。

- 本製品は車両のオートクルーズをアシストする製品です。本機能を過信せず必ずドライバーの自己判断にてご使用下さい。
- 本体は運転の妨げにならない場所へ固定して下さい。
- 本製品はオートクルーズの制御を目的に製作されています。配線の接続及び、使用方法を間違えると車両の不調・破損・事故をきたす場合がございますので十分慎重に取り扱い下さい。なを何かの原因で車両の不調・事故が発生しても当社では一切の責任を負えませんのでご了承下さい。

注意 負傷または、車両や商品の損傷を未然に防ぐ為の事項を示してあります。

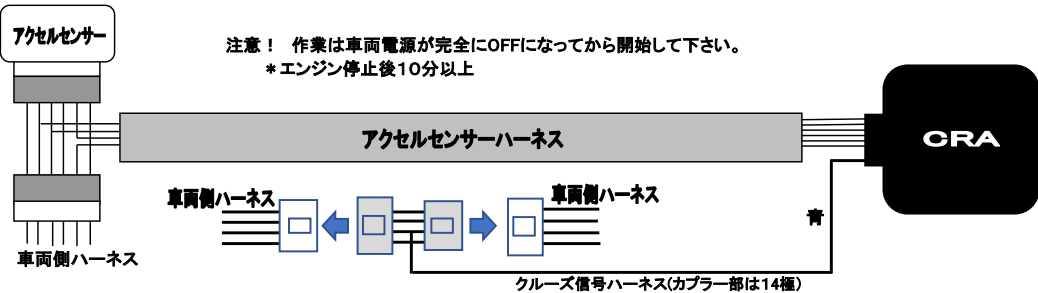
- 取り付け作業はエンジンを停止させ、専用設備をもった安全な場所でおこなって下さい。必ず専門の業者に依頼して下さい。
- 本製品およびハーネスを高温部もしくは水のかかる場所に設置することは絶対にさけて下さい。また製品を落としたり、衝撃を与えたりすると故障の原因になります。
- 製品を分解もしくは改造して使用した場合、当社では一切責任を負うことが出来ません。

注意 後付け、社外品のオートクルーズには使用出来ません。取り付けは純正装着車に限ります。

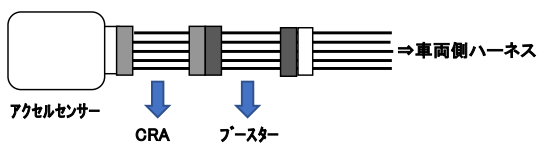
取り付け時の注意

- 取り付け作業はエンジン停止後、**車両電源が完全にOFFになったのを確認してから作業を開始して下さい**(約5~10分程度)
 - 電源がOFFにならない状態で作業をおこなった場合は車両ECUが『エラー認識』をしてエンジンチェックランプが点灯してしまうことがあります。
- 取り付け作業はバッテリーをはずさずにおこなって下さい→バッテリーをはずした場合はアイドリング学習、他設定が必要になります。
- クルーズ制御に関わる部分です。接続位置、接触には注意して慎重に作業をおこなって下さい。
- 接触不良等がある場合、正常にエンジンが吹けあがらない、やエンジンチェックランプ点灯等の状況が出てしまいます。この場合専用の機器しかエンジンチェックランプの点灯を消すことができない場合があります。慎重に作業をおこなって下さい。

接続図



【弊社ブースターとの併用】



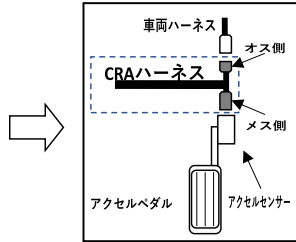
- 弊社ブースターと併用する場合は左図を参考に接続をおこなって下さい。
- ①アクセルセンサー側へCRAのハーネス、車両側にブースターのハーネスを直列に接続して下さい。
- 注意! 接続順序を逆にするとCRAが正常動作しません。
- ②各ハーネスはアクセルペダル等に干渉しないようにまとめて下さい。
- 注意! 他メーカーのスロコンとの組み合わせは動作確認が出来ません。ご了承下さい。

取り付け方法

注意 取り付け作業はエンジン停止後、車両電源がOFFになったのを確認してから作業を開始して下さい。(車両によっては10分以上)

(1)アクセルセンサーハーネスの取り付け方法

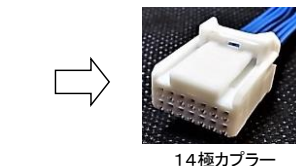
- ①車内のアクセルペダル根元にあるセンサーを確認して下さい。
 - *アクセルペダルを固定しているボルトを一旦外し、アクセルペダルを浮かした状態でカプラーを確認して下さい。
 - *アクセルペダル根元に付いている黒いBOXに6極カプラーが刺さっているのがセンサーです。(右画像参照)



注意 抜いたカプラーにアクセルセンサーハーネスを確実に割り込ませて接続して下さい。この部分に接触不良があると車両が正常に走行できなくなります。慎重に作業を進めて下さい。

(2)クルーズ信号ハーネスの接続方法

- ①ハンドルのコラムカバーを外し、クルーズ信号ハーネスと同じ14極カプラーを探して下さい。(カプラー色は黒色の場合もあります)
- ②車両のカプラーを抜き、クルーズ信号ハーネスを割り込ませて接続して下さい。
 - 弊社ブースターと併用する場合は上記の接続図を参考にして下さい。



14極カプラー *カプラー色は白か黒

(3)本体ユニット固定

- 接続が終了したら、本体ユニットを運転の妨げにならない位置へ両面テープにて固定して配線をタイラップバンドにてまとめて下さい。
- 本体を固定する前に必ず本体横のDPSWの設定をおこなって下さい。

注意

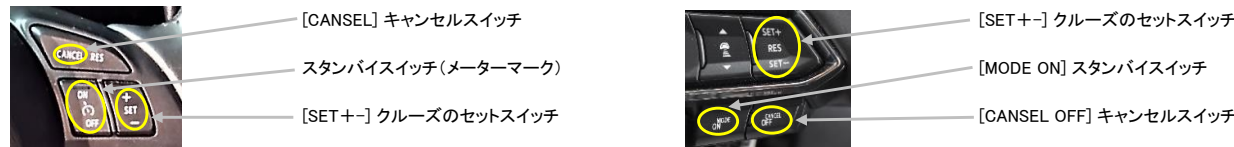
機能の概要・DPSW設定方法



- 重要** DPSWは車両により設定が異なります。CRAを使用して、削除したい機能があればOFFにして下さい。
 - *DPSWはスイッチを下げるとON、上げるとOFFになります。
 - *スイッチ操作は必ずエンジン停止時におこなって下さい
- 注意** マツダ車は機構上の特性で、[SET+ -]どちらを押してもオートクルーズが開始されてしまいます。この車両は安全性を考えたスタンバイモード(DPSW1)はOFFにて使用して下さい。

機能の概要・DPSW設定			
ディップSW	設定値	モード	概要
DPSW 1	OFF	STANDBYモード	エンジン始動時に自動的にスタンバイをおこなうモードです。マツダ車は機構上の問題で必ずOFFにて使用して下さい。
DPSW 2	ON	RECOVERYモード	オートクルーズ走行中に一旦キャンセルされた場合、アクセル開度に応じ、クルーズ状態を復帰させるモードです。
DPSW 3	ON	HIGHWAYモード	オートクルーズ走行中にアクセルを踏み込んだ場合、自動的に設定車速を上げるモードです。
DPSW 4	ON	オートクルーズ特性選択	車両のクルーズの特性の設定です。ONにて使用して下さい。

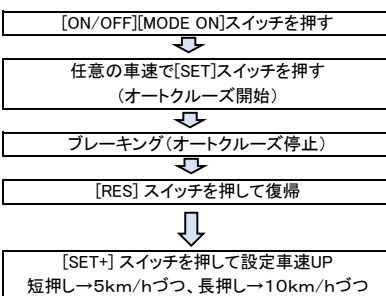
車両の操作系の名称



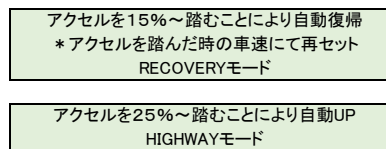
クルーズアシストの制御概略

●クルーズアシストの概略です。左図の一般的な操作に比べ右図の部分が自動化されます。

一般的なオートクルーズ操作方法



クルーズアシスト(CRA)機能



注意 マツダ車の場合、リカバリーモードの働きが異なります。→常にアクセルを踏んだ時の車速に再セットされます。

機能確認・使用方法

重要 オートクルーズの作動は車両により異なります。必ず車両のクルーズ操作方法を十分に理解したうえで、本製品をご使用下さい。

(1)スタンバイのセット(車両側操作) 重要! CRAを装着してもこの操作は必ず1回必要です。

- エンジンを始動させて下さい。
- [ON/OFF]もしくは[MODE ON]スイッチを押し、オートクルーズをスタンバイ状態にして下さい。
 - *メーターパネル内にオートクルーズ作動のマークが表示されるか? 表示色が変わります。



(2)オートクルーズの作動(車両側操作) 重要! CRAを装着してもこの操作は必ず1回必要です。

- オートクルーズの作動開始は、一旦自分で操作する必要があります。
- 走行中にオートクルーズを使用出来る条件の時に車両のスイッチ[SET]を押してオートクルーズを作動させて下さい。
 - *メーターパネル内にオートクルーズのマーク等の表示が変化します。



注意 ●エンジン始動後に必ずこの操作を1回おこなわないとオートクルーズは作動しません。

(3)リカバリーモードの作動確認

- オートクルーズ走行中にブレーキング等でクルーズコントロールが停止した場合、アクセルを約15~25%踏み込むとクルーズ状態に復帰するか? 確認して下さい。
- オートクルーズ作動中にアクセルを約15~25%踏み込んだ場合、アクセルを踏んだ時の設定車速にオートクルーズがセットされます。
- このリカバリー機能をキャンセルしたい時はDPSW-2をOFFに設定して下さい。



約15%~25%

(4)ハイウェイモードの作動確認

- オートクルーズ走行中にアクセルを約25~50%程度踏み込んだ時にオートクルーズの設定車速が上がっていくか? 確認して下さい。
 - *参考 CX5(KF車)は10km/hづつ車速が上がっていきます。
- このハイウェイ機能をキャンセルしたい時はDPSW-3をOFFに設定して下さい。
- ハイウェイモードの作動タイミングは、本体のボリューム調整にて変更することが可能です。(CRAの有効な使用方法の項目を確認)



約25%~50%

(5) 走行中のCRAキャンセル

- 走行中にCRAの作動をキャンセルする場合は
 - * 車両のオートクルーズのキャンセルスイッチを3秒以上長押しして下さい。→『ピッピッ』と2回ブザー音が鳴りCRAは完全にキャンセル状態になります。(エンジンを再始動した場合は自動的に作動状態に戻ります)
- 再度CRAを復帰させる場合は
 - * 車両のオートクルーズのキャンセルスイッチを3秒以上長押しして下さい。→『ピッ』と1回ブザー音が鳴りCRAは作動状態になります。



高速走行後の注意

- 注意** 高速走行後は、車両の設定が『車速の高い状態』になっています。車両のスイッチでクルーズを1回解除してから走行して下さい。

CRAの有効な使用方法

CRAを使用する際には、車両の設定機能も一緒に操作することにより有効にオートクルーズ使用することが出来ます。

(1) レーダークルーズ車の自動停止時

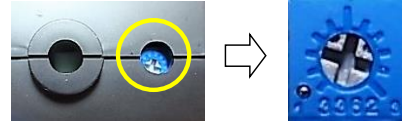
- レーダークルーズ車において、前方車両を追従しながら自動停止した場合の発進は・・・
→ アクセル開度約15%以下にて発進をおこなうことにより、オートクルーズの設定車速を変化させることなく使用することが出来ます。
- 設定車速が必要以上に上がってしまった場合は、車両のスイッチ操作により走行しやすい車速に戻して下さい。



～約15%以下

(2) ハイウェイモードの調整方法

- ハイウェイモードの入るタイミングが合わない場合は以下の方法で調整することが出来ます。
 - ① 細い(+)ドライバーを用意して下さい。
 - ② CRA本体後方にφ5mm程度の穴があります。穴の奥にドライバーを差し込み調整をおこなって下さい。
 - * 少ないアクセル開度で制御を始めたい場合→ボリュームを左方向に回す(時計と逆方向)
 - * 大きいアクセル開度で制御を始めたい場合→ボリュームを右方向に回す(時計方向)
- ハイウェイモードが必要ない時はDPSW-3をOFFにすることにより機能をキャンセル出来ます。



トラブルチェック

<オートクルーズ作動中にアクセルを踏むと設定車速が変化してしまう>

- 正常です。

<エンジン停止時にブザー音が出る>

- エンジンを停止した時に車両電圧の状況に応じ『ピッ!』『ピッ・ピッ!』といったブザー音が出る時がありますが、異常ではありません。

<自分でセットしていないのに勝手にオートクルーズが作動してしまっている>

- 車両のオートクルーズの作動手順が変更されています。危険をとまぬ可能性がありますのでDPSW-1はオフ状態にて使用して下さい。
DPSW-1をオフにすると、手動操作にてスタンバイボタンを押さない限りオートクルーズは動きません。

<DPSW-2をオフにしたのにリカバリー機能が働く>

- アクセルを25%～50%以上踏み込むとハイウェイ機能が働きます。このハイウェイ機能が働く時に車両のクルーズコントロールが再動作します。
ハイウェイモードに入るタイミング調整により使い易い設定を探して下さい。

<エンジンチェック点灯、吹けあがらない>

- キースイッチを抜いてから、完全に電源が切れる前に取り付け作業をおこなってませんか?(完全に電源が落ちてから作業をおこなって下さい)
- カプラーの接触、勘合状態を再確認して下さい。

<エンジンチェックの消し方 応急処置>

- エンジン始動 ⇄ 停止 を3回～4回以上繰り返す
 - * 停止時はエンジンを停止させてから10～20秒おいてからエンジンを再始動させて下さい。
 - * 応急処置後、必ず専用機器にてリセットをかけて下さい。
- 上記方法にてチェックが消えない場合はカーディーラー等の専用機器のある工場にてエンジンチェックランプを消してもらって下さい。